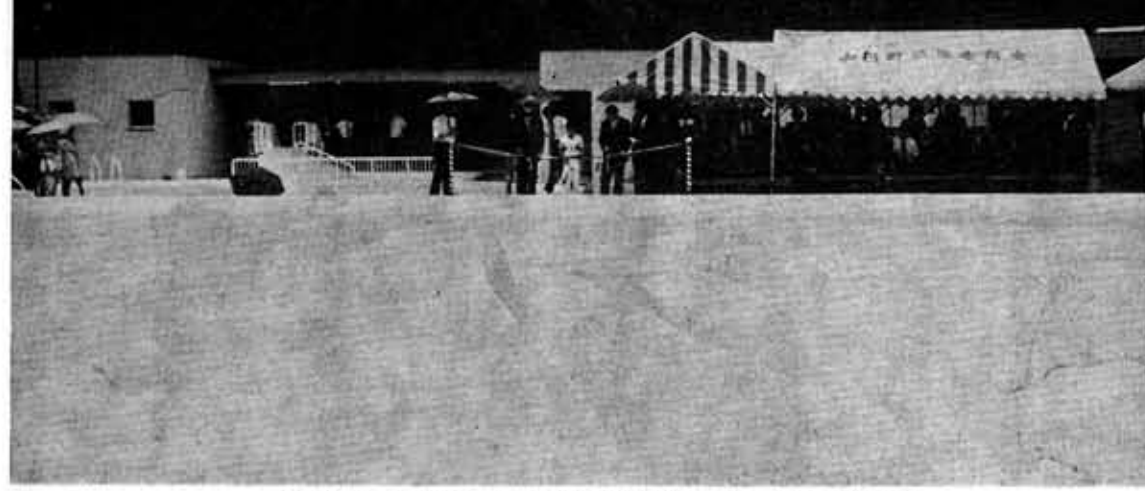


まちのうごき

(6月1日現在)	(5月中)	
世帯数 13,943世帯	生れた人 80人	
人口 46,973人	亡くなった人 16人	
男 23,397人	転入した人 553人	
女 23,576人	転出した人 403人	

夏！水のシーズンです

市民プール装い新たに完成



新しくなった市民プール。今年の夏はこのプールでかなづち解消だ。

……夏の水泳シーズンを前に、市民待望の「市民プール」……
 ……(向陽小学校)が向陽小学校内に新装完成し、そのプールの開きが、六月二十五日、同プールで行われました。……
 ……このプールは、(財)向日市社会体育振興会の手によって建設されたもので、工事費三千三百万円。……
 ……このほど完成した市民プールは、親子が一緒に泳ぐことができ、水遊びが楽しめるなど、施設として、事務室、男女更衣室、男女トイレ、倉庫、兼機械室、シャワー、足洗場、洗体槽、洗眼場なども備えています。



新しい市民散策の場として、第2向陽小。夜9時まで夜間照明

市民憩いの広場

第2向陽小学校に誕生

「市民に憩いと体力づく」討っていた学校公園が、六りの場を」と、昨年からの検討、昨月下旬、第2向陽小学校内に誕生した。水泳は健康づくりに適した全身運動です。市民の



すべり台もある幼児用プール

みなさんがこのプールを利用され、水に親しまれることを望みます」とあいさつを述べ、市民は、「このプールを社会体育の場として市民に提供していただいて非常にうれしい。このプールが、市民の体位向上に役立つよう願います」と、お祝いの言葉を述べました。

式は、向陽小学校長、児童会長のお礼のことは、テロプカットと続き、最後に京都踏水会が古代泳法、近代泳法などの模範演技を披露し、プール開きに花を添えました。

七月十日から一般に開放

市民プールは、七月十日から一般に開放されますが、開放期間・時間、入場料などは次のとおりです。

▽開放期間・時間
七月十日～九月二十日
平日・土曜日 午後三時～六時、日曜日、午前九時～午後六時

▽入場料
大人百円、小人五十円、幼児は無料ですが、必ず親同伴でこまめ下さい。

▽禁止事項
(1)他人に迷惑または危険を感じさせる行為。
(2)危険な遊戯。
(3)立ち入り禁止の場所に入ること。

なお、詳しくは、(財)向日市社会体育振興会事務局(教育委員会内)まで 番九三一一二八

川をきれいにするには、川をゴミ捨て場と考えるのではなく、人達によって、魚が泳ぐ代わりに、大きいものはつれた家具類から小さいものは残飯まで、我がもの顔で泳いでいます。これらのゴミは、不衛生なだけでなく、水の流れを悪くしますので、少しの雨でも水があふれ、浸水の原因にもなります。

清流を取りもどすことは、わたしたちの大きな願いです。公共下水道、都市下水路の整備をはじめ、川を美しくする会など各種団体の協力を得て、生活の環境保全に取り組んでいます。市民の一人一人の自覚によりまして、住みよいまちづくりが前進しますことを願って、パトロールを終えました。

川をきれいにするには、川をゴミ捨て場と考えるのではなく、人達によって、魚が泳ぐ代わりに、大きいものはつれた家具類から小さいものは残飯まで、我がもの顔で泳いでいます。これらのゴミは、不衛生なだけでなく、水の流れを悪くしますので、少しの雨でも水があふれ、浸水の原因にもなります。

清流を取りもどすことは、わたしたちの大きな願いです。公共下水道、都市下水路の整備をはじめ、川を美しくする会など各種団体の協力を得て、生活の環境保全に取り組んでいます。市民の一人一人の自覚によりまして、住みよいまちづくりが前進しますことを願って、パトロールを終えました。



世界環境デーの六月五日から十一日までの環境週間中に、多彩な行事を行いました。このうちの河川パトロールに参加しました。

わたしたちの子供のころの川は、きれいな水が流れ、水遊びや魚釣りなどの楽しい遊び場のひとつでありました。

川の流れば、人口が多くなるにつれて、一般家庭の排水、汚染物質を排水する事業所の影響を受けて、汚染度がどんどん増してきています。

川は泣いている。 河川パト 始末記

七夕人形劇場のご案内

ことしで4回目をむかえる「七夕人形劇場」が、つぎの日程で開かれます。楽しい人形劇の世界に、あなたもお越しになってはいかがですか。

<と き> 7月11日(日)
午前10時、午後2時の2回

<ところ> 向日市民会館ホール

<上演> 「リスとくるみの木」
「にげた におうさん」

<出演> 人形劇団 京雲

<料金> おとなも子どもも300円

<お問い合わせ> 教育委員会 番931-1181

※ 入場券は、教育委員会で発売していますので、お早めにお買い求め下さい。

花火による火災事故をなくそう

夏は花火のシーズンであり、この季節になると花火の消費量の増加とともに、花火の不始末による出火も多くなります。花火は、子どもにとって楽しみのひとつですが、その取扱いは間違えたり、注意を怠ると、火事やけがなど大変な事故になってしまいます。

<花火遊びの注意事項>

- ◎風の強い日は遊ばない。
- ◎せまい所では使わない。
- ◎家の近くで使わない。
- ◎人の多い所で遊ばない。
- ◎燃えやすいものの近くでは遊ばない。
- ◎花火を分解しないこと、残り火に注意。

<向日市消防本部>

子どもの花火遊びは危険